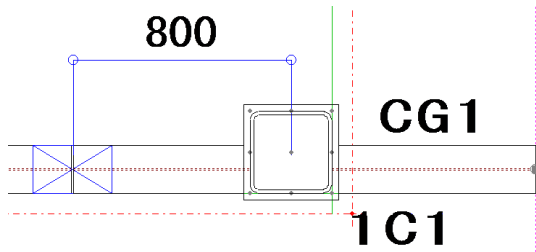




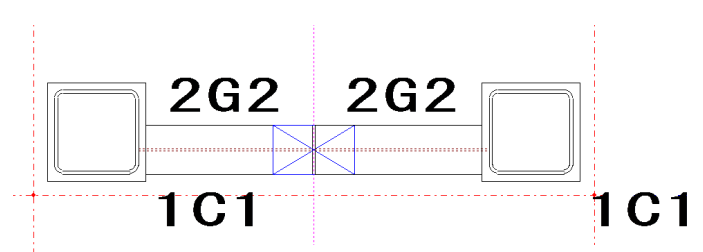
# 片持ち梁やセンタージョイントの梁をブラケット扱いにしたい！

**部品種類を個別に変更できます。**



【片持ち梁】

梁の先端に補助線を作図し、  
柱～補助線間を入力（溶接）



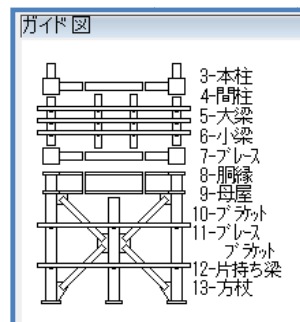
【センタージョイント梁】

ジョイントの中心に補助線を作図し、  
柱～補助線間・柱～梁の先端（I 接続）で入力

【梁】 - 【修正】にて変更したい梁をクリックします。

【部品種類】を【10-ブラケット】に変更します。

部品種類を変更することで、符号管理の区分や加工指示書の区分を『ブラケット』として出力することが可能です。



## 部品種類：1-自動 の場合

『片持ち梁』・・・符号管理では、片持ち梁ルールを参照して鋼材符号を設定  
切断孔明加工指示書の区分は『片持ち梁』として出力

『センタージョイント梁』・・・符号管理では、大梁のルールを参照して鋼材符号を設定  
切断孔明加工指示書の区分は『大梁』として出力

※ブラケットの符号名設定ルールが『中央符号+LR』の場合、上記のケースで部品種類をブラケットに変更した場合は中央符号がありませんので、別途ルールを指定して頂く必要があります。

※梁詳細図作図時の絞り込み区分は、部品種類に関わらず、『その他柱』となります。